



## 第V部

保育園・幼稚園・認定  
こども園と小学校との連携



## 第Ⅴ部 保育園・幼稚園・認定こども園と小学校との連携

### 1 子どもの発達と学びをつなぐ園と小の連携

#### (1) 5歳児の発達段階と特徴

5歳児は、身体の成長面からみて、成人の形態に近づき、その成長の速度は今までに比べて、ゆっくりとなってきました。下半身の成長が上半身に追いついてくる時期でもあり、体形的に「小さな成人」と言えるほどになります。それに伴い、平衡感覚がかなり発達してきます。運動機能も、ホップ、スキップ、ジャンプをすることが上達し、多様な動きができるようになります。また、音楽に合わせてリズムをとったり、踊ったり、ボール遊びができるようになる等、視覚的、聴覚的に捉えた情報を、手足を中心とした体全体で表現できるようになってきます。更に、手先の動きも繊細さを増し、箸や鉛筆、筆、クレパス等も上手に使えるようになり、紐を結ぶことや絵を描く技術も高まります。

生活面では、衣服の着脱や洗顔、歯磨き、排泄等がほぼできるようになり、家事の手伝いや当番活動等、仕事への参加意識も高まります。これによって、自己有用感、達成感、所属感が強くなります。進んで手伝いをすることができるようになり、生活の中で自信を高め、信頼を獲得するようになります。遊びも、より複雑なルールや協調性、共同性が必要なごっこ遊びを好むようになり、友達の要求を理解したり、自分の気持ちや考えを伝えたりする必要性を強く認識するようになります。人と関わりながら考えを深めていく、友達と共有しながら活動を広げていくという、人と関わる力が伸び、考えを深める過程が人間関係の中で行われていきます。このような、友達との関わりを通して、きまりや約束を守ること、他者への思いやりの心も育ちます。

#### (2) 学びをつなぐ園・小の教育

子ども達は、地域に見守られ、地域との交流をとおして豊かな体験を得ながら、就学前から小学校・中学校へと育っていきます。

特に園と小学校との連携については、保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領においても、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会等を設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有する等連携を図り、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るように努めるものとして示されており、小学校学習指導要領においても幼児期において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、総則や生活科の中にスタートカリキュラムに関する記述が盛り込まれています。

幼児期において、自発的な活動である遊びを通して育まれてきた、気付きから探求へとという学びの過程は、小学校以降の学習意欲へとつながり、主体的に課題に取り組み解決していこうとする態度を育てることにつながります。こうした幼児期から児童期への学びの連続性の保障のためには、接続期の保育・教育において「つながる」ことが重要です。

幼児教育と小学校教育のそれぞれのよさや特性を互いに尊重し、子ども達一人一人の成長をしっかりと支えていくためには、保育・教育に携わるすべての人々が、本市の幼児教育が目指している方向性についての理解を深めていくことが必要です。

## 2 浦安市の幼保小連携教育の考え方

様々な体験や遊びを通して得る学びの土台となる幼児期から、教科学習中心となる児童期以降の教育において、互いの違いを理解した上で円滑な接続をし、教育を進めていくことが重要です。

### 発達と学びをつなぐ4つのポイント

- ①子どもでつなぐ
- ②教職員でつなぐ
- ③カリキュラムでつなぐ
- ④保護者との連携でつなぐ



### 生活や遊びの連続性

～滑らかな接続～

幼児期に身についた力を生かせるように小学校生活への段差を小さくする。

### 達成感

～必要な段差～

子ども自身が段差を乗り越えることの達成感や充実感を自信や意欲につなげられるようにする。

地域の中で

### 3 子どもの発達と学びをつなぐ「4つのポイント」

浦安市では、子ども達の学びと育ちをつなげていくために「4つのポイント」を設定しています。それぞれに「～でつなぐ」という視点のもと、中学校区の実態に合わせて様々な実践に取り組んできました。



ここでは、それぞれの具体的な取組例を紹介します。

## 具体的な取り組み

### (1) 子どもでつなぐ

#### 小学生のお兄さん・お姉さんと遊ぼう！ ～年長児と5年生の交流～

##### 取組の目的：

- ＜保育園・幼稚園・認定こども園＞
  - ・5年生との交流を通して、小学生への憧れの気持ちをもつ。
- ＜小学校＞
  - ・園児との交流を通じて、自己の成長を実感し、人に対する思いやりの気持ちを育む。

##### 内容：

- ・互いの自己紹介カード等を交換し、相手に親しみを感じられるようにする。
- ・小学校の校庭や体育館で、ドッジボールやサッカーをしたり、室内でカルタやすごろく作りをしたりする。

ボールがきたら、素早くよけるといいよ！

代わりに書いてあげるね。



ゆっくり読んであげたほうが、わかりやすいかな。

お姉ちゃんって、字もきれい。何でもできて、かっこいい。



お兄ちゃんは上手だなあ。



##### 園から見た成果

- ・学校の雰囲気や広さを実際に体験し、小学校生活への期待が膨らんだ。
- ・5年生の優しさやたくましさを感じ、小学生への憧れの気持ちが芽生えた。

##### 小学校から見た成果

- ・自分たちが役に立ったという達成感を味わうことができ、自己肯定感や最高学年への意識の高まりが見られた。
- ・進級への期待が膨らみ、低学年への思いやりの気持ちにつながった。

## (2) 教職員でつなぐ

### 浦安市教育委員会幼稚園・認定こども園訪問・保育園訪問・小学校参観 等の実践

#### 取組の目的：

- ・教育委員会訪問や公開研究会、保育園訪問を実施し、園・小・中学校教職員の指導力向上を目指す。
- ・保育参観、授業参観を実施し、教職員間の保育・教育に関する相互理解を深める。

#### 内容：

- ・教育委員会職員、健康こども部職員が保育・授業を参観し、指導助言を行う。
- ・他園・他校の教職員が参観し、保育・授業について協議する。

→<学級のみんがが集まって相談中>  
幼児の言葉に参観者も聞き耳を立て、幼児が獲得している力を捉えていきます。



↓<協議の時間>

保育参観の感想、評価や課題について、互いの意見を出し合う中で、幼児理解や教師の役割について考えます。他者の意見や参観の視点が、保育者や教師の新たな気付きとなります。



←<遊んだ後の振り返りの場面>  
子ども達の感想やアイデアを、明日の遊びにつなげていきます。

#### 園から見た成果

- ・保育参観をすることで、自分の保育を振り返り、環境構成や指導の参考になった。
- ・授業参観では、授業のねらいに向かって、学級の友達と共に考え、教師の投げかけを理解して学ぶ姿に子ども達の成長を感じた。園生活の学びがどんな力になるのか考える機会となった。

#### 小学校から見た成果

- ・保育参観をすることで、園での生活や遊びの中で、どんな力が育っているのかを知ることができた。
- ・年長児にはできることがたくさんあることが分かり、必要以上に幼く扱っていることはないかと気付かされた。
- ・小学校の学習とのつながりを感じる機会となった。

浦安市では、教育委員会と健康こども部保育幼稚園課が市立の保育園・幼稚園・認定こども園を訪問します。当日は行政職員だけでなく、他園・他校の職員にも保育を公開しており、幼児教育の理解の推進につながっています。また、参観者を含めた話し合いの機会をもつことで、幼児理解や保育の資質向上と保育内容の充実を図っています。

この他、日頃から中学校区ごとで、教職員による保育・授業参観を実施しています。参観週間期間を設定したり、参観後の話し合いを取り入れたりするなど、設定方法を工夫し、相互理解が更に深まるよう連携を進めています。

### (3) カリキュラムでつなぐ

## 各中学校区におけるランドデザインの策定と活用

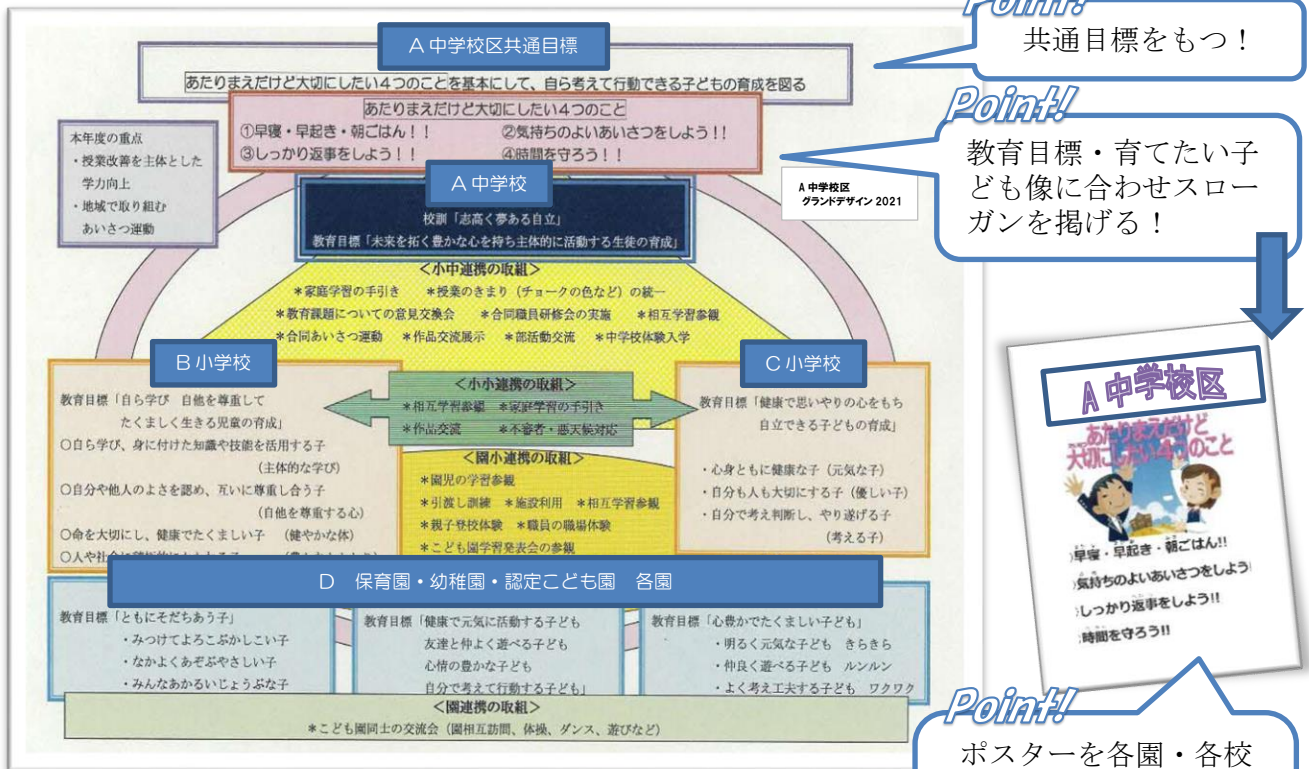
#### 取組の目的：

中学校区のランドデザインを共有することで、お互いの保育・教育目標を確認し合うと共に、地域の子ども達を同じ方向性で共に育てていく。

#### 内容：

- ・市内9中学校区全てにおいて、実態に合わせランドデザインを策定する。
- ・ランドデザインの中で、園・小学校・中学校で、共通の育てたい子ども像・教育目標を掲げる。
- ・共通の教育目標に向かい各園・各校の特色を生かし教育活動を進める。また、経過や成果を共有し連携する。

#### ランドデザインとその活用例 ～A中学校区の場合～



中学校区毎に毎年開催している「園・小・中連携の日」等の場を活用し、教職員同士が教育目標に向かう取組内容や成果、今後の課題等について共有しています。

#### 園・小学校から見た成果

- ・就学前から義務教育までの9年間を見通した教育の中で、園や小学校としてできることを考え、保育・教育に反映することができた。
- ・分かりやすいスローガンやポスターが作成されたことで、教育目標を周知しやすく、職員だけでなく、子ども、保護者も意識することができた。

#### (4) 保護者との連携でつなぐ

### 園の保護者会に、小学校職員が参加

#### 取組の目的：

- ＜保護者＞  
小学校や新1年生の生活の様子を知り、不安や疑問の解消につなげる。
- ＜小学校＞
  - ・入学前に家庭で取り組んでほしいことを伝える。
  - ・保護者が抱えている不安を知り、今後の対応に生かす。

#### 内容：

年中・年長児クラスの保護者を対象に、学区内の小学校職員（校長・教頭・教務主任等）より小学校入学についてのお話を聞く。



#### ＜保護者に配布した資料の一部＞

小学校の先生に聞きました！  
1年生にはこんなことを教えています。

道員の出し入れを教えます。  
配付物が保護者の方に  
確実に届くようにします。

トイレの使い方を  
教えます。拭き方が  
難しいようです。

楽しく学ぶために話の聞き  
方、座る姿勢、立つ姿勢を  
教えます。  
また、「ハイ！」と手をあげ  
ることが楽しくなるような  
指導を心がけています。

友だちとなかよくできる  
ように子どもたちのよい  
ところを見つけ言葉か  
けをし、友だちに対して  
前向きになれるようにし  
ます。

3 困ったことがあったときは・・・

- ・わからないことや気になることがあったらまず、学級担任に相談してください。
- ・学級担任だけでなく学年職員、養護教諭、スクールライフカウンセラー等、学校の教職員全員で支援しています。
- ・児童育成クラブやはっぴいひろば（放課後異年齢教室）の職員とも連絡を取り合い、連携を図っています。
- ・園と小のスムーズなつながりを意識し、様々な取り組みをおこなっています。
- ・学校以外にも様々な支援の組織があるので遠慮なく声をかけてください。

就学に向けて家庭で取り組んで欲しいことについての話を聞き、最後に質疑応答を行いました。

（質問）まだ平仮名が書けません。入学前に練習した方がよいですか？

（答え）入学してから鉛筆の持ち方や平仮名の書き順を学びます。まずは家庭で姿勢よく椅子に座ることや、しっかりと話を聞く習慣を身に付けてください。

#### 園から見た成果

- ・直接話を聞くことで、学校や職員への親近感が沸いた。また、具体的な小学校生活のイメージが浮かび、我が子の新しい生活への安心感につながった。
- ・園の職員も同席し、就学に向けた具体的な取組を学ぶことができた。

#### 小学校から見た成果

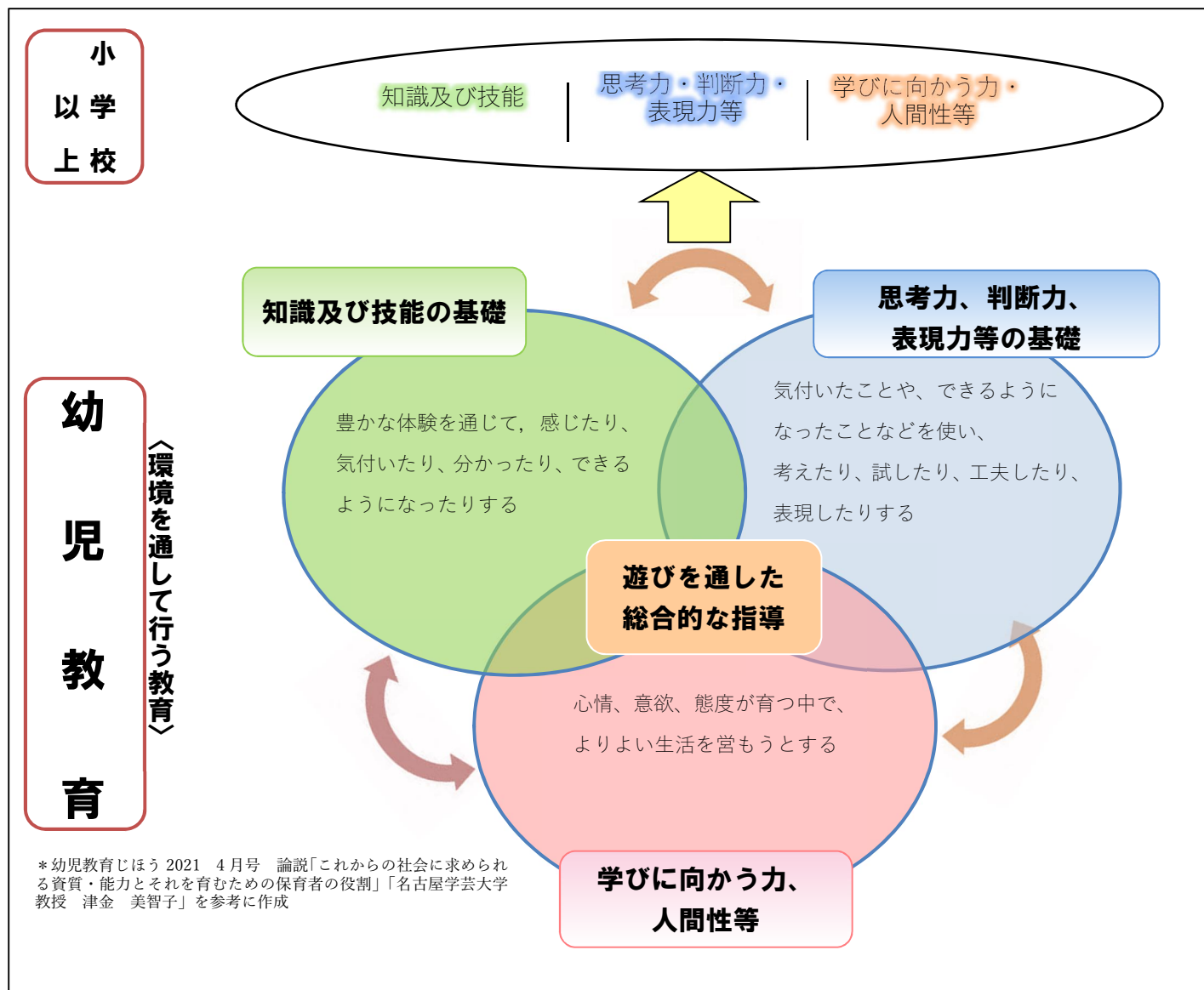
- ・入学前の保護者が、どのような疑問や不安を持っているかを、捉えることができた。
- ・就学前に家庭で取り組んでほしいことを、事前に伝えることができた。

#### 4 幼児教育から小学校教育の「学び」のつながり

保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、幼児教育において育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿として、特に5歳児後半に見られるようになる姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として明記しています。園では、各保育者がこの姿を念頭に置いて、幼児教育に取り組んでいます。

##### 《幼児期の終わりまでに育ってほしい姿》

①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え	⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え
⑦自然との関わり・生命尊重	⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	⑨言葉による伝え合い	⑩豊かな感性と表現		



## 具体的な取り組み

園・小の  
つながり  
事例Ⅰ

# 「みてっ！さかなのおうち」 ～ソフト積み木～2歳児6月

ねらい

- ・積み重ねが不安定なスリルを味わう。
- ・形や大きさの違いを体感する。
- ・バランスのとおり方を考える経験を通して、構成遊びの楽しさを知る。

### 活動内容と10の姿

#### <活動のプロセス>

積み木を積み重ねて遊ぶ。 ①⑧

#### 保育者・教師の関わり

遊びに夢中になれるだけの十分な広さを確保する。

人と関わりながら、積み木の構成を繰り返し楽しむ。 ③④

一人一人の気付きを見守り、楽しい気持ちへの共感を示して遊びの意欲を高める。

形や大きさを確認しながら、自分のイメージを形にすることに夢中になる。 ①③⑥⑧

### 10の姿と子どもの様子

#### ①健康な心と体

自分の体と同じ大きさの直方体を持ち上げる、円筒形を転がす、立方体を並べた上を歩くなど、様々な体の動きを使って遊ぶ。

#### ③協同性

幼いなりの言葉で「こっちに置いて」「ここでいい？」と声を掛け合いながら積み重ね、思いが通じると歓声や笑い声でお互いの感情を共有する。

#### ④道徳性・

#### 規範意識の芽生え

イメージの共有ができているようで、完全ではない年齢。積み木の取り合いやイメージの不一致により「やめて」や「しないで」と言われて相手の気持ちに気付く。



#### ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びの中で、積んだり並べたりすることで起こる大きさの変化、形の違いや名称に触れ「大きくなった」「同じ(形)」「四角いっぱい」など言葉にする。

#### ⑥思考力の芽生え

積み重ねていくとバランスが不安定になり、崩れてしまうことに気付く。それ以降は重ねる際に下段とのズレが少なくなるよう、丁寧に積む姿、慎重に遊ぶ姿が増える。

学びの

芽生え

- ・遊びを通して他者の存在に気付き、一緒に居ることの心地よさや葛藤を繰り返しながら、「友達」や「仲間」としての関係に興味を抱く。
- ・バランスを取ったり丁寧に重ねようとしたりすることで、手先が器用になり「もっと遊びたい」という意欲が生まれ、その後の道具を使った活動にすすんで取り組めるようになる。
- ・夢中になって遊ぶことで集中力がつき、「あれは何?」「これはどうなる?」と探究することで思考力が養われて、自らが成長していくことに意欲と自信をもつ。

ねらい

- ・水に色をつける過程や混色の面白さに関心をもち、楽しさを味わう。
- ・試行錯誤を重ね、自分でできることに喜びや達成感を感じる。
- ・友達や保育者と思いや考えを伝え合う。

活動内容と10の姿

〈活動のプロセス〉

色水の作り方を知る。  
色水を作る。 ④⑥⑦

保育者・教師の関わり  
三原色の絵の具を用意する。  
やってみようとする意欲やなんで？どうして？と感じた気持ちを尊重して見守る。

色の混ぜり合いを見る。  
混色する。 ③④⑥⑦⑧⑩

子どもの気付きや発見を見逃さず、友達やクラス全体と共有できるようにする。

自分だけではなく、友達と場や感情を共有しながら、試行錯誤して色水と関わる。

③④⑥⑦⑧⑩

10の姿と子どもの様子

③協同性

互いに持っている色水を融通し合い、混合割合を話し合いながら、イメージした色を友達と一緒に作り出す。

④道徳性・規範意識の芽生え

用具を順に使用したり、色水をこぼさないよう大切に扱ったりする。



⑥思考力の芽生え

容器の開け閉めや水の移し替え、混色の際の各色の割合などを、自分の考えのもとに工夫する。

⑩豊かな感性と表現

友達が作った色水を見て「どうやって作ったの？」と尋ねたり、必要な色を考えたりして組み合わせ、同じ色の作成に励む。

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

並べたり移し替えたりして、色水の量を比べたり調整したりする。

⑦自然との関わり  
・生命尊重

水が冷たいこと、溢れること、流れることなどに気付き、友達と共有しながら関心をもって関わる。

学びの芽生え

小学校とのつながり

- ・友達と協力しながら色水の作り方を教え合ったり、模倣してみたりしている場が肯定的に捉えられている。友達の素敵な所を見て学んだり、自分に取り入れたりすることができる姿は、図画工作科における鑑賞活動につながっていく。
- ・水に色がつくさまや混ぜることでの色の変化、どの色を混ぜたら〇〇色が出来るといことを子ども達自身で試行しながら体験的に学んでいる。絵の具や水の量で濃淡がつくこと、三原色を用いて色を作り出すことを十分に体験しておくことは、絵の具の混色という学習に結び付いていく。

ねらい

- ・体を十分に動かして遊ぶ。
- ・友達と一緒にやる楽しさや難しさに気付く。
- ・自分なりに考え、それを友達と共有しながら試行錯誤する。

活動内容と10の姿

〈活動のプロセス〉

遊んだ後のマットを片付けようと一人で押すが重くて動かない。 ①

保育者・教師の関わり

一人一人の参加の仕方における多様性を認める。その際の気付きや心情をクラス全体で共有できるようにする。

友達と一緒に押す。話し合いながら、繰り返し試す。 ①②③④

子どもなりの試行錯誤やその結果を肯定的に見守る。必要に応じて仲介し、友達の気持ちや状況に意識を向けられるようにする。

マットを片付ける倉庫まで押す。友達と喜び合う。 ①②③④⑨

10の姿と子どもの様子

①健康な心と体

マットを押すという動作や友達と協力して行うことに楽しさを見出し、意欲的に体を動かして遊ぶ。

②自立心

押す力加減や体勢を工夫しながら、自分の力だけで足りない時には、友達に応援や協力を頼み、諦めずに最後までやり遂げようとする。



⑨言葉による伝え合い

友達に自分の思っていることを声に出して伝えたり、相手の話も聞いたりして、考えや気持ちを伝え合うことで心を通わせる。

④道徳性・規範意識の芽生え

よい所を認め合い、してはいけないことを注意し合う中で決まりを作ったり守ろうとしたりする。

③協同性

押す場所を譲り合ったり、どうしたら出来るかを話し合ったりしながら工夫してやり遂げ、喜び合う。

学びの芽生え

小学校とのつながり

- ・自分の体を支える動きを遊びの中で楽しみながら行い、様々な体の動かし方や使い方を幼児期ならではの遊びの中で十分に行っていくことは、マット運動や跳び箱運動などにつながる。
- ・子ども達自身で意見を出し合い、よりよい方法を模索し見出していく経過は、自分の思いだけでなく相手の思いも受け入れながら、目的達成のために協力して試行錯誤する機会となり、主体性を育むことにつながる。

# 「色を並べてみよう」 ～自然物を使った色水遊び～ 5歳児6月

ねらい

- ・身近な植物に関心をもって遊びに取り入れることで、自然のもつ色の美しさや色が混ざる不思議さを味わう。
- ・自分なりのめあてをもって、考えたり、試したり、工夫したりして遊ぶことを楽しむ。

## 活動内容と10の姿

## 10の姿と子どもの様子

<活動のプロセス>  
花を育てる。 ⑦

保育者・教師の関わり

花に関心をもてるよう、子どもの目に入る場所にプランターを設置し、皆で水をあげたり、花がらを取ったりする時間を作る。

色水遊びをする。 ②⑥⑦⑨⑩

自分なりに考えたり試したりする姿を見守り、時間や場を保障する。

色水を並べて遊ぶ。 ⑥⑦⑨⑩

並べたり、混ぜたりすることを楽しめるように、透明のカップを増やす。

### ②自立心

自分で用意したり、片付けたりして遊ぶ。繰り返し遊ぶ中で、すり鉢や漏斗などの道具の使い方が分かるようになる。

### ⑥思考力の芽生え

自分のめあてに向かって、すり鉢に入れる水の量を調整したり、色水作りに使う草花や混ぜる色水の組み合わせを考えたりして、工夫して遊ぶ。繰り返し試す中で、色や水、植物の性質や特徴に気付く。



### ⑦自然との関わり

自分のプランターに水やりをしたり、花がらをとったり、愛情をもって世話をする。身近な植物に関心をもち、遊びに取り入れることで自然のもつ色の美しさを感じる。

### ⑩豊かな感性と表現

色の濃淡に気付いたり、混色によって色を新たに作ったり、並べたりすることで色彩感覚を身に付け、色の表現を楽しむ。

### ⑨言葉による伝え合い

色水を作ったり、並べたりすることを楽しみながら、気付きや考えを友達と伝え合う。

小学校との

つながり

- ・園では考えたり試したりしながら繰り返し遊ぶことができるよさがある。小学校でも、1年生で朝顔を使った色水遊びをしたり、2年生で絵の具を使った色水遊びをしたりする。園で自分なりに試したり考えたりしながら遊んだ経験が土台となり、小学校での学びが深まっていく。
- ・園では色水遊びに限らず、自然物を使った様々な遊びを経験している。1年生の生活科「あきとなかよし」の単元では、園での遊びを思い出してアイデアを出す姿が見られる。園での経験が、主体的に取り組む姿につながっていく。

ねらい

- ・自分達で育てたじゃがいもの生長に興味をもち、収穫する喜びを味わう。
- ・身近な野菜の栽培や収穫を経験し、それを調理することで食への関心を高める。

### 10の姿と子どもの様子

#### 活動内容と10の姿

##### 〈活動のプロセス〉

昨年度の年長児への憧れから、自分達もカレーパーティーをしたいと考え、じゃがいものを植える。①③⑦

##### 保育者・教師の関わり

じゃがいもの育て方を知らせたり、一緒に調べたりする。

世話をする。③⑦

意欲的に世話をする子どもの姿を見守り、生長の過程を学級の皆で共有する機会を作る。

収穫する。①③⑦⑧⑨

カレーパーティー開催に向けて話し合いの時間を設ける。  
(他の材料の準備・調理・環境設定等)

年少・年中児をカレーパーティーに招待し、一緒に食べる。②③⑨

#### ① 健康な心と体

カレーに使われていた野菜の育て方や生長の過程に関心を持ち、進んで世話をす。さつまいも掘りの経験を思い返しながら、力を入れて蔓を引っ張ったり、土を掘り返したりする。

#### ② 自立心

活動に必要なものや役割を考え、準備を進める。年少・年中児を招待することに期待をもちながら、栽培活動や調理に取り組む。考えたことを実現することで年長児としての自信をもつ。

#### ③ 協同性

学級で話し合い、相談したり、思いを共有したりする。収穫時には友達に「一緒に掘ろう」と声を掛け、蔓を引っ張る。収穫の喜びや協力して活動する面白さを、学級の友達と分かち合う。



#### ⑦ 自然との関わり・生命尊重

自分達で世話をした野菜がどのように生長していくのか、興味をもって観察する。実際に収穫することで、土の中で様々な大きさのじゃがいもが数多く実っていたことに感動したり、不思議さを感じたりする。

#### ⑨ 言葉による伝え合い

収穫の様子を見守る年少児に、自分達がしていることを言葉で伝える。また、じゃがいもを使ったカレーを作って、一緒に食べることを説明し、心を通わせる。

#### ⑧ 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚

収穫したじゃがいもの形や大きさの違いに気付き、並べて数を数えたり、見立て遊びをしたりする。また、感覚的に重さの違いに気付く。収穫後、計量器を使って表示された数字の違いに興味をもつ。

小学校との

つながり

- ・遊びを通して、実際に見たり触れたりしていることで、理科で出てくる「実」や「葉」の名称を身近に感じている。
- ・収穫したじゃがいもの大きさや形を比べる、実際に重さを量る遊びを通し、実際に触れながら考えることで、量感を掴めるようになり、算数科の学習へとつながる。
- ・年少児への伝え方を考えることは、相手意識をもつ経験になる。
- ・じゃがいもの形を他の物に見立てる遊びは、図画工作科の造形活動、多様な表現方法の学びにつながる。
- ・カレーパーティーを開催するまでの活動を通じて、自然や生命への尊重、他者との関わりや協同的な学びの楽しさを知ることにつながっていく。

ねらい

- ・友達と一緒に協力しながら、自分の役目を果たす。
- ・友達と関わりを深め、思いやりをもつ。
- ・感謝されることで満足感を味わい、自信をもつ。

### 活動内容と10の姿

＜活動のプロセス＞  
当番活動の方法を知る。

#### 保育者・教師の関わり

前年度の年長児に当番活動の内容を教えてもらう機会を作り、次年度への期待感を育めるようにする。

友達と一緒に行動することで、安心して役割を果たす。

#### ②③⑤⑧

他者の感情や相手の視点に気付くような働きかけをし、思いやりを育めるようにする。

友達が困っていることに気が付き、助け合いながら、一緒に活動する。②③

今日の当番の紹介や、頑張った思いの発表の場を作り認められる経験を積めるようにする。

いろいろな保育者や友達に認められ、自己発揮し、自信にする。②⑤

### 10の姿と子どもの様子

#### ②自立心

当番の仲間と各クラスを回り、出席人数を聞きボードに書く、最後に給食室まで伝えにいくという自分の役割を自覚する。順番に行いながら、数字の書き方を教え合ったり、荷物を分担し持ったりと、色々な課題に、友達と考え工夫しながら最後までやり遂げている。自分の力で行うことで、達成感を味わう。



#### ③協同性

友達の存在を支えにして、安心して活動に臨み、共通の目的をもち、一緒に行う楽しさを味わう。共感し助け合うなかで関わりを深め思いやりの気持ちをもつ。

#### ⑤社会生活との関わり

保育者や給食員、年下児との触れ合いから人との様々な関わり方に気付く。日常の挨拶やマナーを覚え当番としての役割を喜んで行う。クラス外の人とも親しみをもつ。他クラスの人数を給食室へ伝えたり、今日のメニューを聞いたり、皆で、情報を共有し生活に役立てる。

#### ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

廊下の歩き方「→やじるし」を見ながら歩いたり、今日の日付やクラスの人数などを聞き、見本を見ながら調べたり数字を写したりする。

小学校との

つながり

- ・当番活動で友達と一緒に協力して取り組むことは、小学校の「委員会活動」や「日直」「係活動」などにつながる。また、場面に応じて考え、試し、工夫して対応する経験を重ねることで、何をすべきか自分なりに考えて行動できるようになる。
- ・「日にち・人数」などを調べたり書いたりしていくことで、生活に結び付いた数が分かり、興味関心が広がる。

ねらい

- ・力を合わせて作品を作り出す喜びを味わいながら、思いをもって楽しく活動しようとする。
- ・表現の仕方を考え、材料の特徴を生かし、作る過程を通して自分の見方や感じ方を広げる。

### 活動内容と10の姿

#### <活動のプロセス>

一人一人の作品をつなげ、大きな絵画を作ることを知る。

#### 【保育者・教師の関わり】

原画や教師見本を見せ、6年生への感謝や1年生への歓迎の気持ちを表す作品であることを知らせ、意欲につなげる。

お花紙の色や重ね方を工夫する。 ③④⑤⑥⑩

お花紙のちぎり方や接着剤のつけ方に気を付けるように声をかける。

個々の作品をつなぎ合わせて、隣接した場所の色合いやバランスが整っているか確認する。 ③⑤⑥⑩

グループの友達や地域の講師の方に進んでアドバイスをもらってよいことを伝える。

全員の作品をつなげ、完成作品を鑑賞する。 ⑨

#### ⑩豊かな感性と表現

原画に合ったお花紙の色を選んだり、木や花びらの質感をどう表現するか考えたりして、色の重なりや美しさ、おもしろさに気付く。

#### ③協同性

グループで色合いや表現の仕方を共有したり、違いに気付いたりして、力を合わせてよりよい作品にしようとする。

#### ④道徳性・規範意識の芽生え

共同で使うお花紙の扱い方や接着材の使い方を守り、みんなが気持ちよく材料を選んだり、楽しく活動したりできるようにする。



#### ⑤社会生活との関わり

地域の講師の方と積極的に関わり、アドバイスをもらったり、相談したりして思いを共有し、自分の見方や感じ方を広げる。

#### ⑨言葉による伝え合い

完成作品を鑑賞し、よさを伝え合う。友達の発言から、「私は~と思った。」と発表をつなげていき、自分の思いを言葉に表す。

#### ⑥思考力の芽生え

原画のイメージの色に近づけるために、試行錯誤しながらお花紙の色を選ぶ。また、お花紙の特性である薄く柔らかい感触を生かして、ちぎり方や重ね方を考える。

### 園とのつながり

- ・園での異年齢交流が、小学校での異学年交流(ペア学年での遠足、低・中・高学年での運動会の表現運動、委員会・クラブ活動など)につながっている。また、園でも年長後半になるとグループ製作を行うことがあり、小学校での様々なグループ活動の土台となっている。
- ・地域の方との交流は、園でも積極的に行われている。就学前から経験していることで、小学校でも抵抗感なく地域の方や外部講師と交流することができる。
- ・原画(手本)があることで、活動のイメージがしやすく、戸惑いが減り、自信をもって活動に取り組みやすくなる。様々な活動の中で、保育者や教師が手本を示すことは、子どもの意欲付けや不安感の軽減になることもある。

ねらい

- ・ 町探検の活動を通し、施設や働いている人と関わり、自分たちの住んでいる町のよさについて考えたり、安全に生活したりすることができる。

### 活動内容と10の姿

#### <活動のプロセス>

「春の町をさんぽしよう」

通学路や学区の様子を見て、自分たちの住んでいる地域に興味をもつ。 ②⑩

#### 【保育者・教師の関わり】

自分たちの学校の周りには、どんなお店や公園があるか、子どもの気付きや興味を尊重する。

「わたしの町はっけん」

行きたい場所や質問したいことなど計画を立て、グループごとに探検し、発見したことをまとめる。 ③⑤⑥⑩

春に行った探検を振り返り、もう一度行きたい場所や会ってみたい人を考え共有させる。  
グループでの話し合いながら、伝えたいことをまとめられるようにする。

「町のきらりひろがれ」

学習発表会で、家の人や他学年を呼んで発表し、よさを伝える。 ③⑤⑥⑩

### 10の姿と子どもの様子

#### ②自立心

学習の活動から、新たな疑問を見つけ、調べたいことについて自分たちで計画を立てる。

#### ③協同性

グループで道順を確認して、目的地まで行く。  
発表会では、グループで伝えたい方法や内容を話し合い、作業を分担しながらわかりやすくまとめる。



#### ⑩豊かな感性と表現

町のよさや人との関わりのおもしろさに気付き、これから自分がどのように生活をしていけばよいか考える。

#### ⑥思考力の芽生え

実際に自分の目で見たり聞いたりすることで、様々な疑問を解決したり、これからの過ごし方を考えたりする。友達の発表を聞くことで、新たな発見にもつながる。

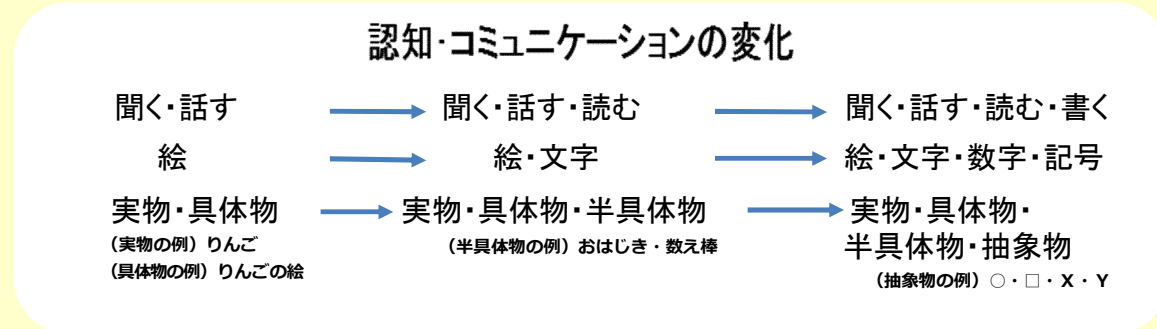
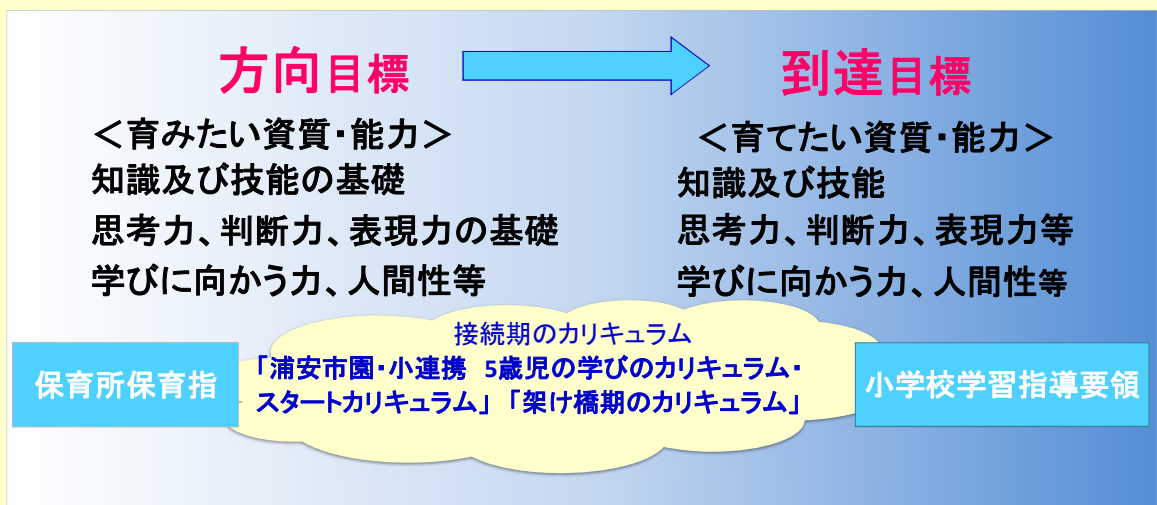
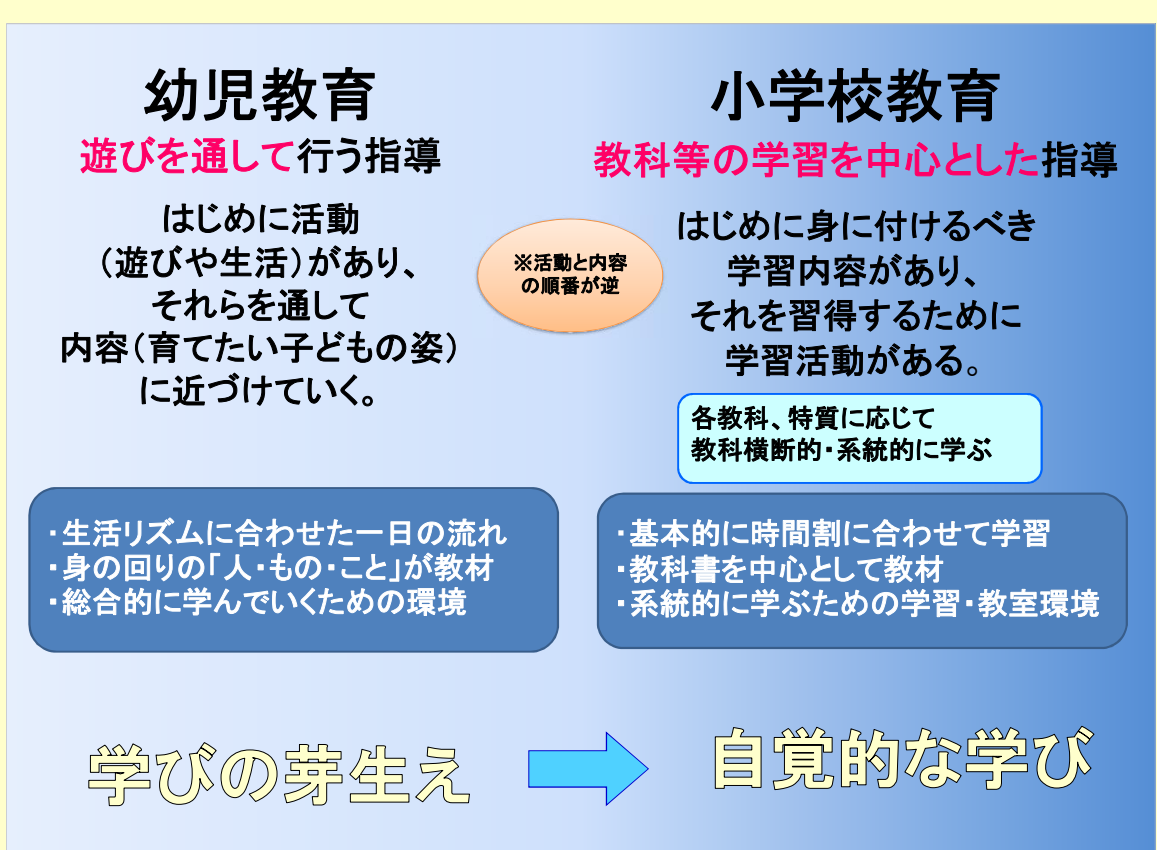
#### ⑤社会生活との関わり

地域の人たちと触れ合う中で、人との様々な関わりや気付き、相手の気持ちになって考え、地域に親しみをもつ。

### 園とのつながり

- ・ 学区探検では、自分の住み慣れた地域のよさや新たな発見に気付く。保育園や幼稚園まで通った道、園の皆とお散歩に行った公園、地域の店など、慣れ親しんだ場所をまた振り返る。就学前から慣れ親しんだ場所だからこそ、変化に気付いたり普段から疑問に思っていたことを解決したりすることができる。興味を持って取り組める活動となっている。
- ・ 後期には、グループで店に行き、実際に見たり質問したりして自分たちの疑問を解決していく。その際、グループで思いを共有するためにも、自分の意見を伝えたり相手の意見を聞いて取り入れたりする活動が大事になってくる。就学前からグループの話し合いを取り入れていることで、自分の意見を言ったり、皆の意見をまとめたりすることがスムーズにできる。

## 5 幼児教育と小学校教育のつながりと違い



「主体的・対話的で深い学び」は、  
幼児教育から小学校教育につながる大切な学びです。

他にも、園生活から小学校生活へいろいろなことがつながっています。



< 身の回りの整理整頓をする ~自分のものをしまふ場所を覚えよう~ >



< 3 歳児 >

< 4 歳児 >

< 5 歳児 >

< 小学校 1 年生 >

タオル掛け、靴箱、ロッカーなど様々な「自分の場所」に、目印としてマーク（イラストシール）が付いています。個人のマークがあることで、文字が読めなくても、自分の場所が明確になります。「マークのみ」「マークと氏名」「氏名のみ」等、発達段階に応じて工夫しています。

持ち物の整理整頓は、園生活の積み重ねが生かされています。

< 身の回りの整理整頓をする ~自分のものはきちんとしまおう~ >



< ロッカーの個人用引き出しの中 >

自分のクレヨンやハサミ等は、ロッカーの自分の引き出しに入れて管理します。



< 自分の机の引き出しの中 >

必要なものが直ぐに取り出せるように道具箱を机の引き出しに入れてあります。自分で準備・管理するものが増えます。

※自分の持ち物である道具や皆で共有する物を整理整頓することは、小学校での生活習慣や学びへの意欲や意識、学習規律の習得につながっていきます。

< 見通しをもって生活する ~日付を知る~ >



黒板には、その日の日付や日直が書かれています。

日めくりカード等を用いて、子ども達が生活の中で、日にちや曜日を知ることができるようにしています。

< 見通しをもって生活する ~一日の流れを知る~ >



その日一日の流れを、文字に絵や写真を添えて知らせています。

時間割は、教科ごとに色分けされ、わかりやすくなっています。

< 見通しをもって生活する ~時間を知る~ >

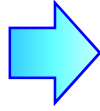


片付けやごちそうさまなどの時間を、事前に知らせておくことで、気持ちを切り替え、次の活動にスムーズに移行できるよう配慮しています。

学校の授業時間は、1時限 45 分間です。子ども達は、チャイムを聞いたり、時計の針を見たりして行動します

※月日や曜日、時間、そして一日の予定等、生活の流れを意識するきっかけを作っていくことは、見通しをもって行動する力につながっていきます。

< 約束事 ～学級のルールを共有する～ >

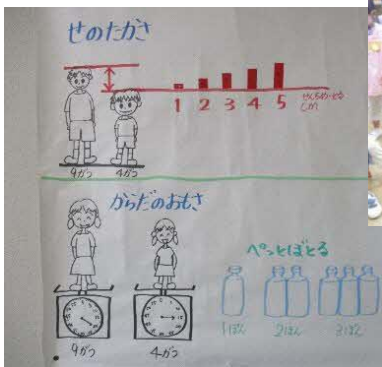


<約束事は、廊下側の壁に掲示されています>

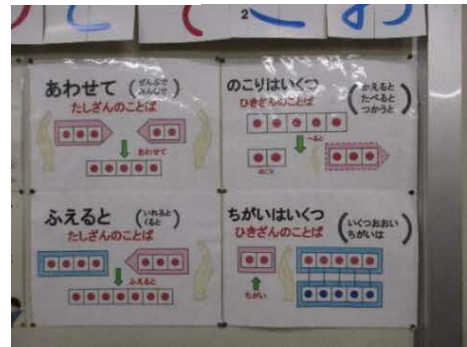
<よい姿勢で話を聞こう>  
椅子や床等に座って活動する際には、正しい姿勢を意識できるよう言葉かけをしています。

園生活の積み重ねや体力の向上によって、授業中の姿勢も保たれています。学校では、学級でのルールは、掲示物などを通して周知したり意識づけたりしていきます。

< 実感を伴う体験を通した学びから抽象的な学びへ >



<「2キロ重くなったよ。2キロってこれくらい?>

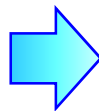


<算数セットを使った学習>

見て触れて感じて、直接体験を通した気付きや学びを大切にしています。

授業の中では、抽象物を使って考える経験も始まります。

< 園と学校で同じ経験 ～新たな学びの視点の獲得へ～ >



<育てたふうせんかずらをとって遊ぶ子ども達>

自分たちが植えた花の芽が大きくなる喜びや実をつける不思議をたくさん味わっていきます。

<生活科の授業のひとコマ>

植物の観察日記をつけ、日々の変化に注目する等、新たな視点を持ち、様々な気付きを獲得していきます。

令和7年度「浦安市学校教育推進計画」後期に基づく  
幼児期から小学校への学びと育ちを豊かにつなぐための

## 浦安市園・小連携

# 5歳児の学びのカリキュラム・ スタートカリキュラム

幼稚園・認定こども園・保育園・小学校

令和4年（2022年）3月より、5歳児から小学1年生の2年間を「架け橋期」と称して、文部科学省で「幼保小の架け橋プログラム」が進められ、全国的に幼保小の接続期のカリキュラムや連携体制の推進が図られています。本市では、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領の実施を通して、園と小学校との円滑な接続を図っています。子どもや教員の交流、連携にとどまらず、教育課程の接続を十分に行うことが必要です。

浦安市学校教育推進計画の具体的施策として、「園小中連携・一貫教育」を推進しています。就学前の「遊びを通して学ぶ幼児期の教育活動」から、小学校の「教科学習が中心の小学校以降の教育活動」への円滑な移行のために、園と小学校が互いの理解を一層深め、双方の質の向上を目指します。

そこで、子ども自身の生活や育ち、社会の変化、今日的な課題からも園・小学校が連携していくことの重要性を職員が再認識できるよう、このリーフレットを作成しました。各園・各小学校の実態に応じて、指導の連続性・一貫性をより高めたカリキュラムを作成するためにこのリーフレットをご活用ください。

令和7年3月  
浦安市教育委員会





浦安市就学前「保育・教育」指針  
いきいき浦安っ子

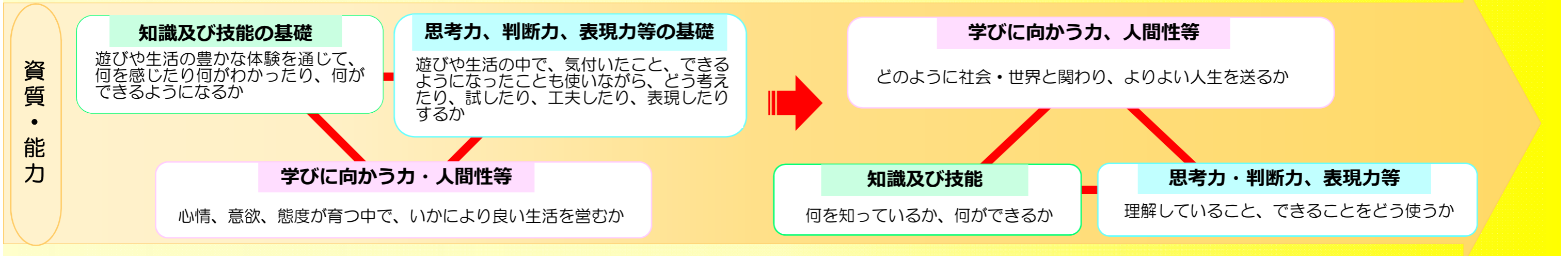
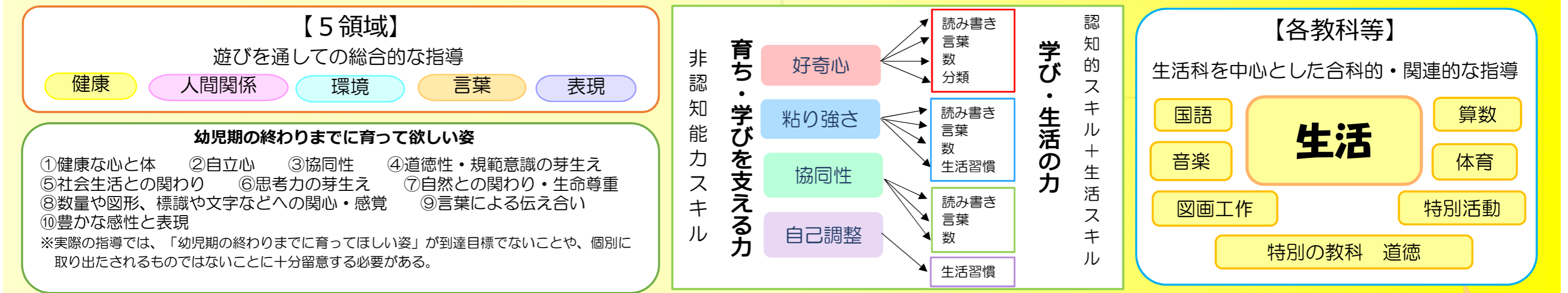
接続期 (5歳児10月～小学1年4月～6月)

浦安市園・小連携

浦安市小中連携・一貫  
教育カリキュラムの指針

## 5歳児の学びのカリキュラム・スタートカリキュラム

<p>『学びの芽生え』・学ぶということを意識して行うのではなく楽しいことや好きなことに、夢中になって取り組むことを通して様々なことを学んでいく</p>	<p>『自覚的な学び』・学ぶということに意識があり、集中する時間と休息等の区別がつき計画的に学びを進める</p>
<p>配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の学びを前倒しするのではなく、「やりたい、伝えたい」という気持ちが高まるような教育・保育の工夫をします</li> <li>・「遊び込む・夢中になる」体験を充実させ、自分の気持ちや行動を調整する力を養います</li> </ul>	<p>配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期に培った力を基礎として、学習中心の生活につなげていくよう指導内容や指導方法を工夫します</li> <li>・安心して学べる環境を整え、個に寄り添いながら「学校って楽しいな、明日は何をするのかな」という意欲や自信を養い、学びの動機付けを図ります</li> </ul>



幼児教育 (経験カリキュラム) → 小学校教育 (教科カリキュラム)

【10月～12月（小学校に期待感を高める時期）】

【1月～3月（就学に期待を高め、進学することを意識する時期）】

【幼児期の経験を生かして育てる力・目指す姿】

○規則正しい生活ができる。  
○自分のことは自分でできる。

- 危険な場所が分かり安全に気を付けて行動する。
- 健康な生活や病気の予防に関心をもち、意識して行動する。
- 自分の所持品の整理や脱いだ服の始末を進んで行う。
- 園や学級のものも自分のものと同じように片付ける。
- 生活に必要な活動を自分から進んで行う。
- 先を見通したり、時間を意識したりしながら友達と声を掛け合って生活する。
- 困ったときは自分で考えたり、周りの人に聞いたりする。
- 共同で使う遊具を大切に使う。

- 危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して安全に行動しようとする。
- 健康な生活に興味をもち、生活に必要な習慣やリズムを身に付ける。  
（※ハンカチの使用、午睡なしでの生活への切替）
- 活動の区切りや時間を意識しながら生活する。
- 就学への期待をもち、自信をもって行動する。
- 友達とルールを考えながら、体を動かす遊びに十分に取組む。
- 自分の遊びや生活の場を整えようとする。
- 自分たちの活動を振り返りながら、当番の仕事の引き継ぎをする。

健やかな体

【体】

○自分のことが自分でできる。自分でできることを増やす。

- 決められた通学路を通って登下校をする。
- 朝、授業、帰りの支度をひとりでする。提出物を出す。
- 学校の決まりや時間を守る。
- 時と場に応じた挨拶や返事をする。
- 場に応じた整列の仕方を覚え、静かに待ったり、順番を守ったりする。
- 場に応じて必要な我慢をする。
- 自分の体の具合など、自分で話す。
- 机の中やロッカーの中の整頓をする。
- 自分の持ち物やみんなが使うものを大切に扱う。
- 食事のマナーを守り、給食を楽しむ。



○思いや考えを言葉で伝えることができる。  
○きまりや約束を守ることができる。

- 生活の場に応じた言葉の使い方や表現の仕方が分かる。
- 自分の経験したことや考えたことを相手に分かるように話す。
- 友達の話をよく聞き、遊びのイメージを共有しながら、自分たちで遊びを進めていく。
- 友達とのかかわりや生活を通して、きまりの必要性や大切さが分かる。
- 物事のよし悪しを自分で考えて行動し、問題が生じたときは自分たちで解決しようとする。
- 友達と役割を分担したり、交代したりしながら、遊ぶ楽しさを味わう。
- 活動に合わせてルールを考えたり、工夫したりしながら遊ぶ。
- 遊びを楽しむ中で互いの良さを認め合う。
- 地域の人や高齢者、異年齢の子どもとふれあい、人の役に立つ喜びを味わう。

- 大勢の友達と目的を共有し、実現するために、保育者や友達と相談しながら見通しをもって遊びを進める。
- 目的に向かって課題に根気強く取り組んだり、工夫したりして、やり遂げた喜びや充実感を味わう。
- 共通の課題に向けて挑戦したり、話し合ったり、役割を分担したりして、目的を果たす喜びを味わう。
- 学級全体で一つの活動などに取り組んだり、共通のイメージをもってそれぞれの遊びをつなげたりする。
- 友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。

自他を尊重する心

【徳】

＜生活の中で＞

○クラスのことをみんなでできる。友達との活動を楽しむことができる。

- 男女を問わず、友達と遊んだり、活動したりする。
- 「一緒に」や「ありがとう」などふわり言葉を使う。
- 「ごめんなさい」が素直に言える。
- 上級生（主に2年生や6年生）とかかわりをもつ。
- 係や当番活動に協力して取り組む。
- 給食の時間を友達と楽しむ。



＜学習の中で＞

○学校生活にかかわる人・場所・物に関心をもち、学習に取り組むことができる。

- 「学校探検」等で校内の様子に慣れるとともに使い方のルールを知り、友達や先生と学ぶ楽しさを味わう。
- 校内の自然の観察やアサガオの栽培を通して、自然とのかかわりを楽しむ。
- 友達の発表を聞き、感想や意見をもつ。
- 図工等の作品作りを一緒に楽しんだり鑑賞しあったりする。
- 音楽や体育、特別活動等のペアやグループ活動をしながら自分や友達の良さに気付く。

○様々な遊びや体験をする（体を動かす・自然とふれあう等）。  
○文字や数に興味をもつ。

- 身近な環境に積極的にかかわり、生活の中に取り入れたり物の仕組みに関心をもち使ったりし、生活を豊かにする。
- 飼育動物や昆虫等の世話を通して、生態や飼育の楽しさをもつ。（絵本・図鑑・事典などを活用する）
- 遊びの中で使う物の数や人の数を考えたり、数の多少を比べたりする。  
（リレーやドッジボールのチーム分けやゲームの勝敗等）
- 遊びの中で文字や数字、絵文字等に興味をもち、読んだり、遊びに取り入れたりする。
- 友達と一緒にリズムカルな動きを楽しむ。
- 物語や話の続きに興味をもち、クラスの友達と楽しんで聞く。（長編の物語の読み聞かせ）
- 絵本や物語に親しみ、イメージを豊かにし、演じたり、イメージを膨らませたりして遊ぶ。  
（劇遊びのストーリーを作ったり、動きを考えたりする）。

- 季節の移り変わりとともに生活にも変化があることを知る。
- 冬の自然現象に興味をもち、見たり試したりする。
- 生活の中で数や文字の必要性や便利さに気付き、書いたり読んだり、比べたり、分けたりする。
- 就学することを喜び、自分の成長に自信と自覚をもつとともに、身近な人に感謝の気持ちをもつ。
- 考えたこと、感じたことをいろいろな方法で表現する。



主体的な学び

【知】

○生き生きと学習することができる。

- 話を最後まで聞く。
- 鉛筆を正しく持ち、丁寧に書く。
- 発表のルールを知り、手を挙げて発表をする。
- 道具を安全に大切に扱う。
- 自然とのふれあいを通して、季節を味わう。
- 失敗をおそれずに挑戦し、最後までがんばる。
- 自分の考えや思いをもち、相手にわかるように話したり絵などで表したりする。
- かけっこや鬼遊び・遊具遊び等で思い切り体を動かす。



# 小学校＜スタートカリキュラム編成の手順＞

- 1 幼児期の子どもの姿を**理解**する。——**園との連携**を図り、実態を把握する。
- 2 **期待する成長の姿**を具体的に話し合い、共有する。——学校・学年目標との連携を図る。
- 3 スタートカリキュラムを**編成**する。
  - ① 成長の姿（目標の姿）を**月**の単位で明らかにする。

＜例＞

以下の視点で学習を3類型に分類し、重点の置き方を考えて単元や学習活動を配列する。		4月	5月	6月	7月
	成長の姿（目指す姿）	<ul style="list-style-type: none"> <li>心をはぐす。</li> <li>安心感をもつ。</li> <li>先生や友達と仲良くする。</li> <li>学校や学級のルールを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や学級、学習のルールを守って生活する。</li> <li>先生や友達との関わりや学習を楽しむ。</li> <li>自分でできることは自分で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関わりや興味関心を広げる。</li> <li>主体的に取り組む。</li> <li>学校生活の時程に従って生活する。</li> </ul>	
♡安心感・人間関係づくり		♡			
◇合科的な学習		◇			
☆教科等を中心とした学習				☆	

- ① 単元の構成を工夫し、配列する（生活科との合科等）
- ② 単元計画に基づいた学習活動を**週**の単位で計画する。

＜例＞

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
朝		＜めあて＞ ○朝の支度の仕方を知る。困ったときは6年生に聞くことができる。 ○朝の会の進行に慣れる。			
1		<b>道徳</b> ・よりよい学校生活 <b>生活</b> ・校舎めぐり	<b>学級活動</b> ・朝の過ごし方 ・廊下の歩き方 ・並び方 <b>道徳</b> ・礼儀「あいさつ」 <b>生活</b> ・校舎めぐり <b>音楽</b> ・校歌の練習	<b>生活</b> 「春の花を見つけよう」	<b>国語</b> 「なかよし」 ・ひらがなの練習 ・読み書き
2	<b>入学式（行事）</b> ・小学校の一員としての喜びを感じる。 ・教室や会場の環境を味わう。 <b>学級活動</b> ・教室や座席・トイレの位置を知る。	<b>国語</b> ・自分の紹介 <b>音楽</b> 「校歌を覚えよう」 <b>学級活動</b> ・下校の支度の仕方 ・下校の決まり	<b>国語</b> ・鉛筆の持ち方 ・線のおけいこ <b>算数</b> 「かずとすうじ」	<b>体育</b> ・体育着の着方 ・整列の仕方 ・準備運動の仕方 ・遊具遊び・鬼遊び	<b>発育測定（行事）</b> ・発育測定を正しく受けよう
3	・担任の名前を知る。 ・友達を知る。 ・返事や挨拶の仕方を知る。			<b>国語</b> ・線のおけいこ <b>図工</b> ・絵「自分の顔」	<b>学級活動</b> ・ふれあいゲーム <b>算数</b> 「かずとすうじ」

# 幼児期と小学校の学びをつなぐポイント

## 「子どもでつなぐ～場とともに～」

幼児が入学前に小学校の施設利用や、子ども同士がかかわる機会をつくるなどして交流を進めていきましょう。

### 園のねらい

- ・小学生への憧れや期待につながる活動。
- ・体験を通して、小学校生活を身近に感じられるようにする。
- ・幼児の気持ちに寄り添いながら、興味、関心が深まるように考え、交流する機会を楽しめるようにする。

### 学校のねらい

- ・自分たちの体験をもとに相手を考えて主体的に取り組む活動。
- ・園での経験を踏まえた活動内容や接し方になるようにする。
- ・1年生の学習活動を園児がイメージできるようにする。
- ・高学年児童には、園児が自分でできることは自分で行う活動になっているか、考えさせる。

**<学校体験>**

**<給食体験>**

**<交流会>**

## 「教職員でつなぐ」

幼児期と小学校の教育を互いの職員が参観し子どもの様子を見ることは、学びをつなぐ中で大切なことです。互いの教育を知り、子どもの育ちを共有していきましょう。

### 園のねらい

- ・授業参観や交流活動を通して、小学校教科の中で取り組む学びを知る(理解を深める)。
- ・学校と共有できる環境等を取り入れていく。
- ・幼児の様子を就学前に伝え、スムーズに学校生活が送れるように引き継ぎを行う(指導要録・引き継ぎ等)。



### 学校のねらい

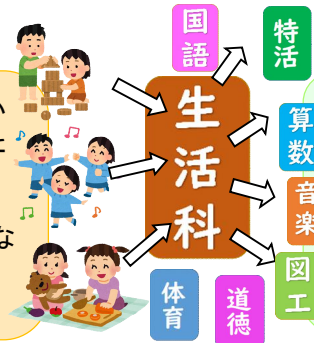
- ・保育参観や事例検討等を通して幼児期の学びについて知る(理解を深める)。
- ・遊びを通した学びについて知る(実際に見て知る)。
- ・学びの形態(壁面制作や保育環境)を知る。
- ・発達段階に応じた活動や援助の在り方を知る。
- ・引き継ぎを行い、就学時の指導・支援に見通しをもつ。

## 「カリキュラムでつなぐ」※別紙参照

幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、連携しながらカリキュラムの作成をすることが大切です。

### 園のねらい

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりにしながら、幼児の得意なところや更に伸ばしたいところを見極め、個々に応じた関わりをしたり、より自立的・協同的な活動を促したりする。
- ・意図的・計画的な環境の構成に基づいた総合的な指導の中で、バランスよく「見方・考え方」や資質・能力を育んでいく。



### 学校のねらい

- ・生活科を中心としたスタートカリキュラムの中で、合科的・関連的な指導も含め、子どもの生活の流れの中で、幼児期の終わりまでに育った力が発揮できるような工夫を行う。
- ・幼児期に総合的に育まれた「見方・考え方」や資質・能力を、徐々に各教科等の特質に応じた学びにつなげる。

## 「保護者との連携でつなぐ」

就学に向けては、子ども同様、保護者も大きな期待と共に不安を抱えています。子どもの育ちを支えるためにはその不安を解消することが大切です。園・学校が連携し、保護者を小学校につなぐ機会をもち、スムーズな学校生活をスタートさせましょう。小学校生活を見据えた子どもの育ちを共に支えられる工夫をしましょう。

### 園のねらい

- ・小学校に向けて身につけて欲しい生活習慣について伝え、家庭の協力を促す(学校から)。
- ・通信などを通して、小学校の様子を知らせる(園が保護者へ)。
- ・園での様子を日々伝え、就学に向けて変化してくる幼児の姿を丁寧に伝える(園から保護者へ)。
- ・就学に向けての相談をしたり、学校と情報を共有したりする。



### 学校のねらい

- ・入学当初の不安について、保護者の思いを十分に聞き取る。
- ・園の教職員から子どもや保護者の様子を聞き取り、個に応じた対応ができるように引き継ぐ。
- ・懇談会等で保護者と学習内容を共有し、家庭と連携した家庭学習の充実を図る。

**園・小学校・中学校**  
**<年間を通した連携や「かかわり」> (例)**

	1 学期		2 学期		3 学期
こどもでつながる	<p><b>1・6年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生の手伝い                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・始業前・支度・遊び</li> <li>・給食・清掃 等</li> </ul> </li> <li>○ペア活動</li> </ul> <p><b>1・2年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科での交流                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検</li> </ul> </li> </ul> <p><b>小</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「1年生を迎える会」</li> </ul> <p><b>園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の運動会参加・見学</li> <li>○小学校のプールで水遊び活動</li> </ul> <p><b>園・1年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科での交流                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・しゃぼん玉遊び</li> <li>・水遊び</li> </ul> </li> </ul>	園・小・中連携の日	<p><b>園・小・中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○合同引き渡し避難訓練</li> <li>○作品交流</li> <li>○生きものふれあい教室</li> </ul> <p><b>園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の児童会活動</li> <li>「お祭り」への参加・見学</li> <li>○小学校の校庭や体育館で運動会の実施</li> <li>○小学校を使って避難訓練</li> </ul> <p><b>園・5年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遊びの交流</li> </ul> <p><b>園・6年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○園での職場見学・職場体験</li> </ul> <p><b>園・中</b> (家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○園での職場体験</li> <li>○園の交流活動</li> </ul> <p><b>園・1年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科での交流                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋みつけ</li> <li>・おもちゃ作り</li> </ul> </li> </ul>		<p><b>園・5年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の学校探検・交流会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や給食の見学</li> <li>・遊びの交流</li> </ul> </li> </ul> <p><b>園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の校庭で凧揚げ遊び</li> <li>○小学校の図書室利用 (読み聞かせ等)</li> </ul> <p><b>園・1年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科での交流                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・お正月あそび</li> <li>・できるようになったよ発表会</li> </ul> </li> </ul>
教職員・地域でつながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆情報交換 (入学後の様子)</li> <li>◆授業・保育参観 (※)</li> <li><b>園</b> 学校関係者評価委員会議</li> <li><b>小・中</b> 学校地域連携運営協議会 (コミュニティスクール)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆授業・保育参観 (※)</li> <li>◆生きものふれあい教室</li> <li>◆学校公開日</li> <li>◆就学時健診</li> <li><b>園</b> 学校関係者評価委員会議</li> <li><b>小・中</b> 学校地域連携運営協議会 (コミュニティスクール)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li><b>園・小</b> 保護者会等に参加 (「入学」に向けての説明会他)</li> <li>◆授業・保育参観 (※)</li> <li>◆情報交換 (入学式前の様子)</li> <li><b>園</b> 学校関係者評価委員会議</li> <li><b>小・中</b> 学校地域連携運営協議会 (コミュニティスクール)</li> </ul>

※授業参観は、教育委員会訪問(「学校訪問」「計画訪問」)の他、参観週間を設けている場合がある。

※園とは、「幼稚園・認定こども園・保育園」を表す。小及び学年表示は「小学校」を、中は「中学校」を表す。

**本市の取組**

- 平成14年度 「幼小連携に関する調査研究」開始
- 平成17年度 「小中連携教育検討委員会」発足
- 平成20～22年度 「幼保小中連携教育協議会」実践報告 (舞浜小学校・舞浜幼稚園) (入船南小学校・入船南幼稚園・入船保育園)
- 平成22年度 「浦安市教育ビジョン策定」
- 平成23～25年度 「幼保小連携教育協議会」実践報告 (日の出小学校・日の出南小学校・日の出幼稚園・日の出保育園)
- 平成26年度 全市での「幼保小中連携の日」を設定
- 平成27年度 「改訂 浦安市教育ビジョン」後期5か年計画 策定
- 平成28年度 「浦安市幼・保・小連携アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」作成
- 令和2年度 「浦安市学校教育推進計画(前期)」策定(「幼保小中連携」→「園小中連携」)
- 令和3年度 「浦安市園・小連携5歳児の学びのカリキュラム・スタートカリキュラム」作成
- 令和7年度 「浦安市学校教育推進計画(後期)」策定
- 「架け橋プログラム」の実施に係る動画作成

## 7 架け橋期のカリキュラム

### 令和〇年度 架け橋期のカリキュラム【〇〇小学校・〇〇幼稚園・〇〇認定こども園・〇〇保育園・〇〇保育園】

浦安市の目指す子ども像		◎主体的な学び（自ら学び身に付けた知識や技能を活用する子ども） ◎豊かななかかわり（適切に表現する力を身に付け、人や社会に積極的に関わるとともに、我が国やふるさと浦安に誇りを持ち、多様な文化を大切に子ども）										◎他を尊重する心（自分や他人の良さを認め、互いに尊重し合う子ども） ◎健やかな体（命を大切に、健康でたくましい子ども）																					
〇〇中学校区の目指す子ども像		〇夢に向かって自分を磨き 地域の未来を切り拓く子																															
架け橋期に目指す子ども像		●自分が経験したことや考えたことを伝え合おうとする子										●課題をもち、最後まで粘り強く取り組もうとする子					●自己を発揮し、意欲的に行動できる子																
年長 5 歳児																	小学 1 年生																
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2	3										
育みたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身に付け、自分で考えて行動する力</li> <li>友達と一緒に遊ぶ中で、気持ちを伝え合う力</li> <li>いろいろなことに興味関心を持ち、好きなことややりたいことにじっくりと取り組む力</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって遊びや生活をすすめる力</li> <li>友達と共通の目的に向かって活動に取り組む力</li> <li>自分の力を出し、最後まで諦めずにやり遂げる力</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>話を最後まで聞く力</li> <li>自分の考えや思いを話す力</li> <li>協力して取り組む力</li> <li>学校のきまりや時間を守る力</li> </ul>																	
具体的な活動・学習内容	<b>健康</b>	生活習慣（新入園児の手伝い・当番活動・手洗い、うがい・歯磨き・掃除・活動の準備・片付け） 身体づくり（リズム・水遊び・プール） 道徳心（挨拶・年下の幼児への思いやり・生き物の飼育） 集団遊び（どろけい・じゃんけんゲーム・中当てドッジボール） 構成遊び・協同遊び（塗り絵・ブロック（机上）） 自然とのふれあい（花、野菜の栽培・虫取り） 素材の活用（泥遊び・色水遊び）										当番活動の引継ぎ マット・鉄棒 縄跳び 思いの伝え合い（他を大切に・相互理解） ドッジボール お別れ会 野菜の収穫 焼き芋パーティー 雪や氷の遊び																					
	<b>人間関係</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
	<b>環境</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
	<b>言葉</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
	<b>表現</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
	<b>表現遊び</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
	<b>表現遊び</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
	<b>表現遊び</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
	<b>表現遊び</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
	<b>表現遊び</b>	園外保育（郷土博物館） 話し合い（グループ活動・遊びの紹介） 絵本の読み聞かせ（11匹のねこシリーズ「スイミー」「おしれのぼうけん」「からすのパンやさん」「ロボットカミイ」「エルマーの冒険」） 造形（こいのぼり製作・空き箱・セタ製作・フィンガー、ボディペイント、船作り・経験画・自然物を使った製作・大道具、小道具作り・ひな人形製作・マフラー編み） 音楽（歌「にじ」「うらちうせんのうた」手遊び「1本指で拍手」「お寺のおしようさん」楽器作り・楽器遊び 歌「さよならぼくたちのほいくえん」）										運動会 発表会 正月遊び（机上） お別れ遠足																					
主な交流・連携	当番活動、異年齢交流、他園との交流、運動会、園外保育、発表会、お別れ会、日常的な情報発信（便り等）、地域探検、計画訪問、園小中連携の日、園内研修、敬老交流会、買い物体験										1年生を迎える会、学校探検、交流の日（地域の日）、作品交流、6年生を送る会、日常的な情報発信（便り等）、園小中連携の日、園小中相互参観、園訪問、学習参観、運動会、引渡し訓練、ふれあいまつり、保護者会、大掃除																						
指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと共に生活習慣やきまりについて考え、生活の中で繰り返し確認する。①②④</li> <li>共通の目的をもち自分たちで遊びや活動を進めようとする姿を見守りながら、言葉を補うなど必要に応じた援助をする。②③⑨</li> <li>子どもが見通しをもてるよう、一日の予定、時間、手順などを図や文字、時計などで示す。④⑤⑧</li> <li>当番活動は、子どもの実態や思いを取り入れ、無理や負担のない取り組みになるよう配慮する。③④⑤</li> <li>季節の変化や身近な生き物、自然への好奇心、探求心が深まるよう、遊びに取り入れる。⑥⑦⑩</li> <li>経験や思いを言葉で伝えられるよう、落ち着いて話ができる雰囲気を作ったり、一人一人に寄り添い耳を傾けたりする。⑥⑨⑩</li> <li>試したり、工夫したりできる素材を用意し、場所や時間を十分に保障する。②⑥⑩</li> <li>遊びや生活の中で、数える、比べる、分類する、試すなどが自らできるような道具や用具を揃えておく。⑥⑧⑩</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びの中で必要な活動やルールに気付き自ら行動できるよう、計画や予定などを伝え、個々またはクラス内で話し合う機会をもつ。①②⑨</li> <li>一人一人が力を発揮し、クラスの一員としてやり遂げた満足感や達成感を得られるように、認めたり、励ましたりする。①②③</li> <li>子ども同士のいざこざや葛藤を通して、相手のよさや協同して活動する大切さに気付けるよう、問いかけ、共に考える。③④⑥</li> <li>社会とのつながりが感じられるよう、異年齢児や地域の人との交流活動や遊ぶ機会をもつ。⑤</li> <li>共通の目的に向かって遊びや活動が進むよう、個々の発達の実情に即した丁寧な援助をする。③</li> <li>自分のよさや特徴に気付き、自信をもって行動できるよう、一人一人の子どもよさや可能性を捉え、自己肯定感を育む。②⑥⑩</li> <li>期待感を持ち不安なく就学できるよう、1年生を始め小学生との関わりが楽しめるような交流活動の機会をもつ。②⑤⑨</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの期待感や不安感に寄り添いながら、学習の流れやルールを知らせ、学習中心の生活につなげていく。①②④</li> <li>子どもの目線に合った校内環境や学習環境を整える。②⑧</li> <li>個々の意欲や自信を引き出し、学びの動機付けを図る。①⑥⑨</li> <li>活動の見通しがもてるように、時計で示したり、文字や図で表したりする。②④⑧</li> </ul>																	
5歳児の学びのカリキュラム（アプローチカリキュラム）										スタートカリキュラム																							